

令和2年度 山梨県教員育成協議会【採用・人事部会】

令和2年度【検討事項】（第1回教員育成協議会より）

- ①各大学での教員採用検査説明会の計画立案と実施
- ②育成指標のキャリアステージを反映した自己観察書の活用
- ③教員採用検査に関する改善点および情報の提供

【採用・人事部会の報告】

■部会での検討内容（出された意見等）

①について

- コロナ禍の状況において、各大学では説明会を不実施・中止にしている現状があり、今年度においては、県立大学（5月：リモートで実施）と山梨大学（10月：対面で実施）の2校のみの説明会を実施した。
- 次年度の訪問計画については、今後の状況を鑑みの中で、今年度末の3月初旬に、次年度の計画を確定する。（第3回で概要を報告）
 - これまでの対面での説明会だけでなく、県立大学で実施したりリモートでの実施が可能かどうかを大学に提案して、説明会の機会を増やす。
 - 大学での説明会以外にも、指導主事や人事担当が学校を訪問し、キャリア教育の一環として教員の魅力についての発信をしていく、などの取組も考えられる。過去に、工業系や農業系の高校において実施したこともあるが、継続的な実施が必要となる。高校の工業系や農業系の受検者の確保にもつながる。
 - 「やまなし教育フォーラム」の継続的な実施。（総合教育センターとの連携）

②について

- キャリアステージに応じた育成指標を意識することで、教員の資質の向上を図る。そのために人事評価の自己観察書の活用について検討を進める。（第3回で報告する）
- 「やまなし学び続ける教師のためのポートフォリオ」を活用する。
 - 自己観察書の「研修」の欄に、キャリアステージに応じた研修計画を立てることで、育成指標を意識した計画的、継続的な研修を受ける意識を高める。

③について

教員採用検査の選考方法の改善により、人材の確保を図る

- 今年度の選考方法、改善点について情報共有した。
- R4年度採用教員選考検査の改善点については、12月以降にポスターや人事異動説明会等において周知を図るとともに、今年度末3月中旬ころには、ポスター、パンフレットを各大学や市町村（組合）教育委員会等に配付する。